

経営比較分析表（令和6年度決算）

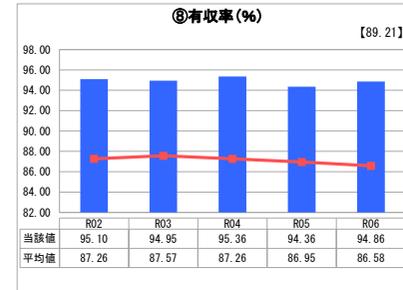
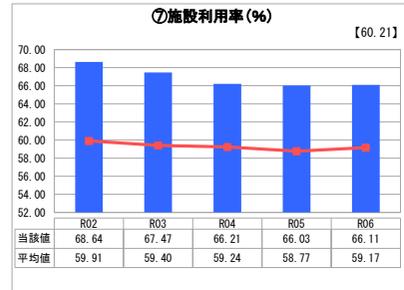
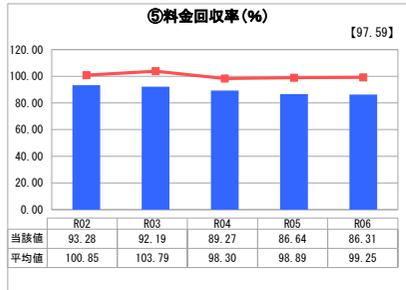
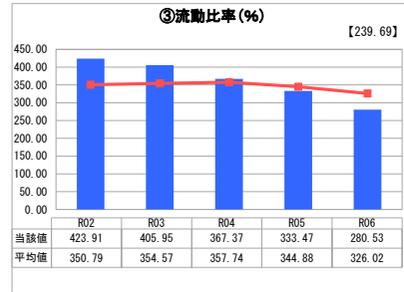
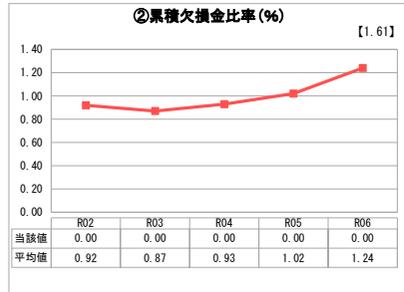
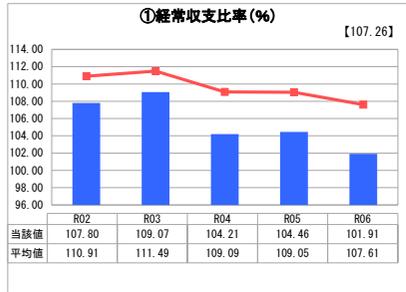
千葉県 松戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	83.10	16.24	2,761	

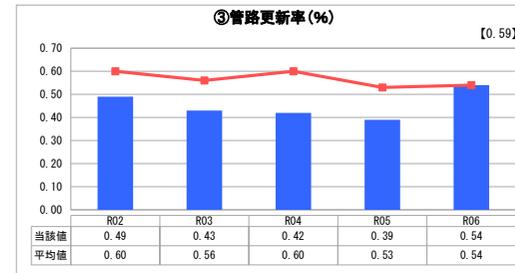
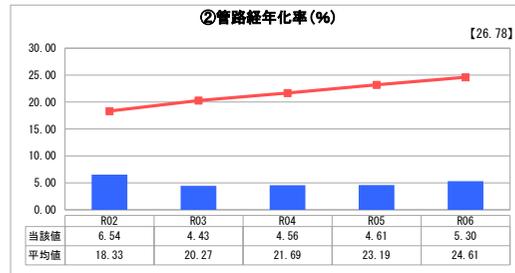
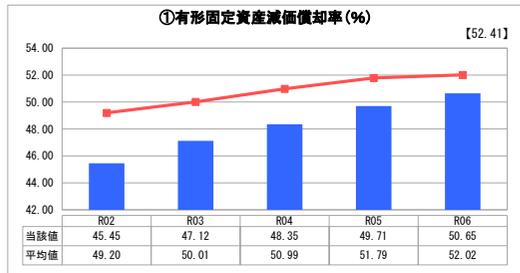
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
500,395	61.38	8,152.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
81,369	8.99	9,051.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率及び⑤料金回収率については類似団体平均値より下回る傾向が続いた。
令和6年度において、①経常費用の増加及び経常収益の減少により前年度より減少した。類似団体を下回っているが、100%以上を維持している。
⑤については、給水収益が減少傾向にある中、労務単価の上昇に伴う委託料の増加などにより、費用が増加傾向にあるため、料金改定が必要と考えている。
②累積欠損比率は0%を維持している。
③流動比率については、前年度より減少し、類似団体平均値も下回る状況にあるが、短期的な支払い能力に問題は無い。
④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っており、この先施設更新の増加が予想される中で、より効率的な資金計画を検討していく必要がある。
⑦施設利用率及び⑧有収率は類似団体平均値より高い数値を表している。このことから、施設規模は適切であり、施設の稼働状況が収益に反映されていることがわかる。
⑥給水原価については経常費用の増加により前年度より増加した。
今後も給水収益は減少傾向にあり、施設の維持管理に係る費用の増加が見込まれるため、引き続き経営改善に努めなければならない。

2. 老朽化の状況について

平成25年度までに石綿管更新事業（老朽管更新事業）を終了しており、②管路経年率は類似団体平均値と比較して良好な数値が続いている。
③管路更新率については、類似団体平均値と同水準であった。
①有形固定資産減価償却率も類似団体平均値を下回っているが、年々増加傾向にあり、老朽化が進んでいる浄・配水場施設更新を重点的に進める必要がある。

全体総括

老朽化の状況が全国平均の値と比較して良好な状態にあることは、石綿管及び浄・配水場施設の更新を行ってきた成果と言える。しかし、経営の健全性（経常収支比率、流動比率、料金回収率、給水原価）については類似団体平均値より不良な状態となっており、一層の経営改善に努める必要がある。今後も老朽化した浄・配水場や管路の更新及び耐震化等に係る費用が見込まれる。
今後の収支見通しでは、令和8年度に赤字に転じる見込みであることから、水道料金の改定を行い、経営基盤の強化を図っていく必要がある。